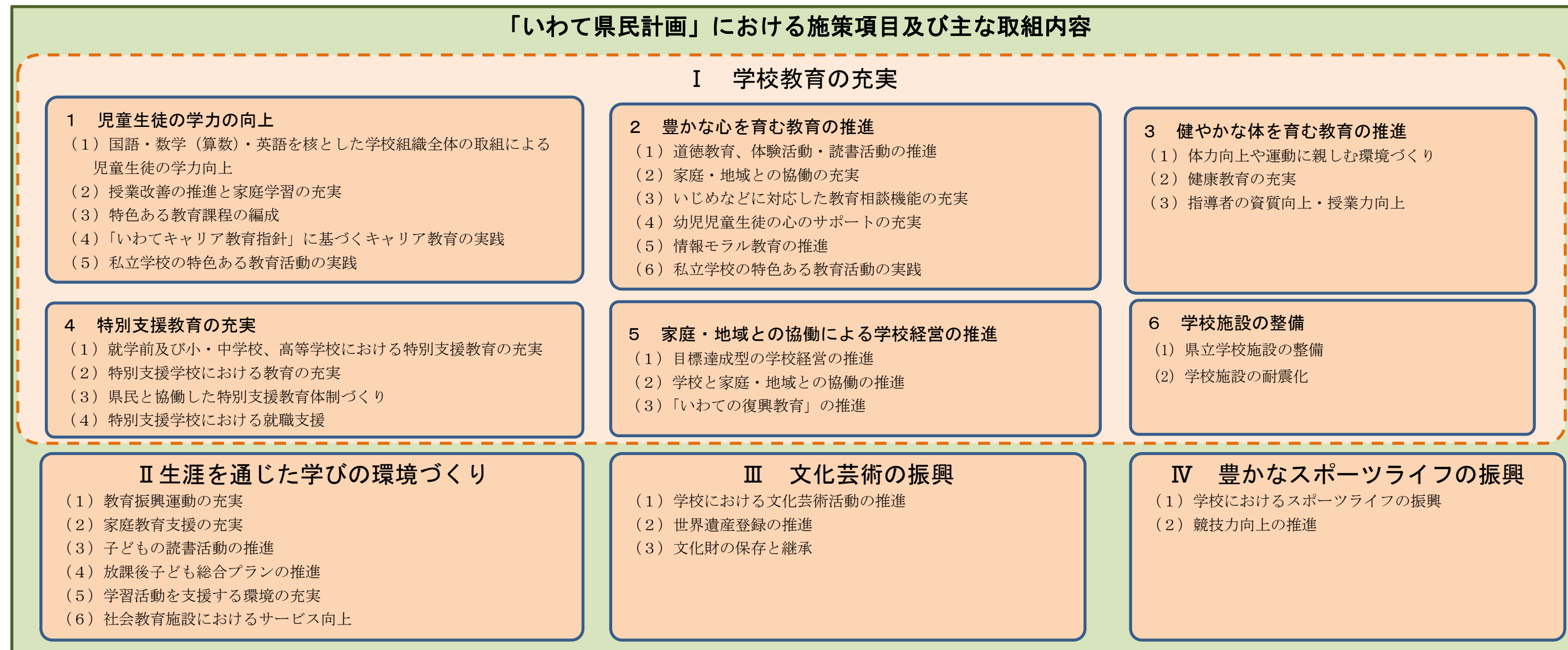


## 岩手の教育をめぐる背景と今後の方向性

### 1 「いわて県民計画」及び「東日本大震災津波復興基本計画」における施策項目及び主な取組内容



### 東日本大震災津波からの教育の復興

- 1 きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実**
  - (1) 「いわての復興教育」の推進      (2) 幼児児童生徒の心のサポートの充実      (3) 児童生徒の安全で安心な教育環境の確保
- 2 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承**
  - (1) 被災地における文化芸術活動の再興      (2) 復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援      (3) 被災文化財の救出及び保存・管理支援      (4) 被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援
- 3 社会教育・生涯学習環境の整備**
  - (1) 社会教育施設の復旧支援      (2) 地域コミュニティの再生支援      (3) 教育振興運動の充実と生涯学習ネットワークの形成
- 4 スポーツレクリエーション環境の整備**
  - (1) スポーツ・レクリエーション環境の整備      (2) 被災生徒の運動部活動の大会等への参加支援

## 2 教育をめぐる社会の変化と今後の教育政策に関する基本的方針

### (1) 社会状況の変化

- ① 人口減少・少子化・高齢化の進展  
→ 高齢者人口の増加、児童生徒数・生産年齢人口の減少
- ② 急速な技術革新  
→ IOT、ビッグデータ、人工知能等の技術革新が一層進展
- ③ グローバル化の進展  
→ 社会のあらゆる分野でのつながりが国境を越えて活性化
- ④ 子どもの貧困など社会経済的な課題  
→ 子どもの貧困など貧困の連鎖、格差の拡大への対応
- ⑤ 地域間格差の拡大  
→ 東京一極集中や経済的格差、大学進学率の地域間格差などの課題
- ⑥ 東日本大震災などの災害からの復旧・復興

### (2) 岩手の教育をめぐる状況変化

- ① 子ども・若者をめぐる課題
  - ・ 全国学力・学習状況調査結果では、授業の内容が分かると答える児童生徒が継続して増加しているが、特定の科目について全国平均との差が生じているほか、家庭学習時間が少ない現状にある。
  - ・ スマートフォンの普及、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の利用が増加している。
  - ・ いわて国体・いわて大会の開催や、ラグビーワールドカップ、東京オリンピックの開催などにより、運動やスポーツに対する意識が高まっている。
  - ・ 運動時間の多い児童生徒の割合や運動能力の高い児童生徒の割合が全国平均を上回っているが、肥満傾向の児童生徒が全国平均を上回っているなど、運動に積極的に取り組む子どもと、そうでない子どもとの二極化傾向にある。
  - ・ 暴力行為の発件数、不登校児童生徒数が依然、多い傾向にある。
  - ・ いじめ問題が顕在化している。
  - ・ 特別な支援が必要な児童生徒数が増加している。
- ② 家庭の状況変化
  - ・ 三世帯世帯の割合が減少し、ひとり親世帯が増加傾向にある。
  - ・ 子育ての悩みなどを身近に相談できる相手がない家庭の増加など、地域社会との関わり方が変容してきている。
- ③ 教師の負担増
  - ・ 学校現場に求められる役割や期待が増大し、教師の負担が増加している。
- ④ 高大接続を取り巻く状況変化と課題
  - ・ 大学を含む高等教育機関への進学率が増加にある。
  - ・ 18歳人口の減少により、高等教育全体の規模への影響
  - ・ 労働市場構造や職業観が変容してきている。
- ⑤ 地域コミュニティの弱体化
  - ・ 都市部における人間関係の希薄化や、農村部における人口減少問題などにより地域コミュニティの弱体化が進み、困難を抱えた親子などが地域で孤立化する傾向にある。

### (3) 中央教育審議会「第3期教育振興基本計画（答申素案）」今後の教育政策に関する基本的方針

#### 【基本的方針】

- 1 夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
- 2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
- 3 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する
- 4 教育政策推進のための基盤を整備する
- 5 生涯学び、活躍できる環境を整える

#### 【政策展開に当たって留意する点】

- 1 教育委員会と他部局が一体となって取組を進める
- 2 課題の複雑化、困難化等を踏まえ、政府や大学等、企業、NPOなど様々な主体が連携・協働
- 3 客観的な根拠に基づくPDCAサイクルの確立

中央教育審議会教育振興基本計画部会「第3期教育振興基本計画（答申（素案）」（平成30年1月22日）から抜粋

### (4) 岩手の教育で目指す姿

#### 子どもたちは岩手の未来 ～子どもたちを育む教育は社会形成の礎～

- ・ 岩手の地で子どもたちが社会に開かれた学校において生き生きと学び、それぞれの自己実現に向けて知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身につけている。
- ・ 県民が主体的かつ相互に連携しながら、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加を通じて、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活している。

- ①岩手で世界で活躍する人材の育成
- ②確かな学力の育成
- ③豊かな心の育成
- ④健やかな体の育成
- ⑤特別支援教育の推進
- ⑥いじめ・不登校等への対応
- ⑦学校と家庭、地域との協働の推進
- ⑧生涯にわたり学び続ける環境づくり
- ⑨学びの基盤づくり